

農業の活性化について

丸山) 地元産品の消費量をより上げる取組みを、求める。特に最大の消費者となる各家庭での消費を増やすための広報・工夫を求める。

市長) こくベジプロジェクトの推進等を通じて積極的に取り組む。市民への周知も図る。

災害に強いまちづくりについて

丸山) 当市は市面積の約50%が防災推進地区になっており全国的にも進んだ自治体である。一方まだ半分が推進地区ではない。今後どのような支援、取組みを行うのか問う。

市長) 防災まちづくり学校を一つの軸として、市民の方々に防災安全課より積極的に勧奨するなどして全市カバーを目指して参りたい。

その他 公民連携、文化振興、都市計画道路、働き方改革等質問。

堅実な基金積み立て整備で 財政基盤の確立を



公明党 高橋 りょう子

【1. 国分寺市総合ビジョンの事業進捗】

問) 持続可能なまちづくりを掲げ策定した市総合ビジョン。初年度の進捗状況、次年度の決意は。

市長) 毎年アンケートを取りながら計画・実行評価・改善を堅持しつつ計画を進めて行く。

【2. 職員確保・人材育成について】

問) 市政運営の要は職員。福祉やIT分野、特殊技能を有する人材をどう確保育成していくか。

市長) 過去の採用で年齢的な隙間が有る。技術専門職も含め人材確保育成、補充も行って行く。

【3. 財政健全化による財政基盤の確立を】

問) 財政調整基金を取り崩しての組み立てとなり事情は一定理解するが、常態化は避けるべき。

市長) 3億円程取り崩す予算を立てたが、基金残高を維持できるよう安定的な運営に努める。

問) 予算規模が増え経常経費が増大している。要因や今後の見通しについて見解を問う。

市長) 民設民営保育所整備や障がい者福祉サービス等の費用が増え社会動向を慎重に見極める。

【4. 公共施設マネジメント・新庁舎建設】

問) 公共施設の老朽化は年々進んでいく。又、新庁舎建設に市民は概ね賛成との意見が多く財政的にも計画通り着実に進めて頂きたい。

市長) 2020東京オリンピック等都内の工事費が急激に上昇。着工時期を見据え慎重に進めたい。

【5. 福祉と包括支援について】

問) 急速に進む少子高齢化や障がい者施策、ひとり親家庭の支援など多様化する課題解決には地域密着の総合相談窓口設置の検討とあるが所掌事務の異なる組織の体制作りどう取り組むか。

市長) 庁内縦割りであってはならず、複合的に指導できる体制を健康部中心に構築していく。

【6. 子どもを取り巻く環境について】

問) 保育園の待機児童問題解消への努力は評価するが追いつかないのが現状。多様化する保育ニーズに対応するには幼稚園の預かり保育も視野に検討すべきと考えるが、今後の取組み見解は。

又、障がい児の待機状況も深刻だ。民間の発達支援事業所の誘致に努めて頂きたいが如何か。

市長) 幼稚園での預かり保育等への話し合いを進め協力を頂きたいと考えている。又、障がい児には庁内横断的な連携等で民間参入も進める。

【7. 医療費助成・子育て支援サービス拡充】

問) 長年提案して来た脳ドック検診の追加を評価。又、子どもの医療費助成制度やインフルエンザ予防接種公費助成の更なる制度拡大充実を。

市長) インフルエンザ予防接種を小3まで拡充。

【8. 切れ目の無い子ども若者支援について】

問) 妊娠期の育児不安解消、児童虐待未然防止、学校でのいじめ問題、若者の引きこもり等対策に向けた子育て世代包括支援センターの準備を。

市長) 新規事業の構築で早期発見につなげたい。

【9. 国分寺駅北口再開発事業について】

問) 多くの関係者のご苦勞と困難を乗り越えての竣工に感謝する。油断を排し無事故の完成を。

市長) その期待に応えられるまちづくりをしたい。

問) 用途地域変更等の都市計画手続きは、都市基盤整備など権利者や住民に影響が出る。慎重かつ丁寧な手続きが必要と考えるが如何か。

市長) 軸から面へ、防災面の課題も含め進める。

【10. 地域公共交通、ぶんバスについて】

問) 待望の万葉・けやきルートが大変好評で順調な運行を評価。北町ルートバス増設やJR西国分寺駅へのルート変更を期待する。今後は日吉町ルートの新府中街道側道部分へのルート変更で、内藤地域が利用可能となる。是非とも早期検討を。

市長) これで交通空白地域は解消される。今後はバス事業者等との話し合いで微調整を進める。

市長) これで交通空白地域は解消される。今後はバス事業者等との話し合いで微調整を進める。

【11. 災害対策関連について】

問) 木造住宅密集地域への感震ブレイカー設置助成を評価。対象者へ丁寧な説明で設置促進を。

市長) 通電火災を防ぐ意味から30年度に予算化。

問) 1月大雪時は市職員や国分寺建設業協会のご尽力に感謝する。自治会等から融雪剤散布協力申し出の声を聞く。ルール化し依頼の検討を。

市長) 危険性を考慮の上市民要請を検討したい。

【12. ホームドア・点状ブロック設置推進を】

問) 転落事故防止は生命を守る大事な事業。鉄道事業者への要望等着実な推進を求める。

市長) 財政出動するが市民の命を守る為進める。

市民に寄り添い、その声を 活かす市政運営へ



国分寺政策市民フォーラム 星 いつろう

◆保育所に入れなかった家庭の実態把握

質問) 「子どもの預け先が決まらなと、採用してもらえない」「この国は『女性の活躍』と言うが、私たちはどうやって生きていけばいいのか」。お連れ合いを病気で亡くされ、シングルマザーとなったある市民の声である。2年連続、保育所に落ちている。その間、育休の延長を行ったものの、入所できずに職も失ってしまった。

保育所に入れず待機児童となってしまったご家庭の実態を組織的に市として把握すべき。

市長) ご意見は担当の方で承っていると思う。ケースに応じた形でご相談を個々にしていくことにさせていただければと思う。

質問) 実態把握は、より明確で現実的な政策につながる。アンケートや聞き取りの実行を。

◆障害のある方々の就労促進

質問) 国分寺駅北口再開発ビルのcocobunjiプラザ(5階公益フロア)のカフェについて。障害をもった方の「働く場」につながっていく形態を検討していただきたい。

市長) 市の姿勢として、就労の場の確保は必要と考えている。同時に、このフロアについては運営形態を含めて様々検討段階となっている。

◆4年生以降の学童保育所の利用

質問) 子どもたちの放課後の過ごし方を心配している保護者は少なくないが、学童保育所は3年生で卒所となる。その後、夏・冬・春の三季

休業中は、子どもだけで1日中過ごしているのが現実。学校の教室を活用し、三期休業中だけでも、4年生以降の預かりを検討すべき。

市長) 教室転用の検討を行っているが、設備面など課題もあり、まだ結論には至っていない。

◆発達障害に対する教育の水準維持を

質問) これまでは、児童が在籍校から指導教室が設置されている学校に移動していたが、この4月から教員が全小学校を巡回する制度に変わる。「必要な教室・教員・プログラムは確保されるのか。これまでの指導水準を維持してもらえるのだろうか」との意見を伺っている。

教育長) 様々なことが想定されるが、保護者にはしっかり説明し、課題を整理しながら改善に取り組んでいく。

質問) 在籍校の特別支援教室に通うことで、「特別な指導」を受けていることが一目瞭然となる。「からかい」「いじめ」の対象になるのではないかと保護者の不安の声を聞いている。

教育長) パラリンピック教育も契機として、児童にも障害理解教育をしっかり進めていく。トラブルが発生した場合には、聞き取りを行い、丁寧な対応を図ることを徹底していく。

◆校舎増築には保護者・住民の意見反映を

質問) 九小・十小の校舎増築に伴い「市民説明会」が開かれた。十小の説明会では「増築する場所は、子どもたちが遊んでいる大切なスペース。いまある少人数棟の上に建てることで、この場所を引き続き確保することはできないのか」「宅地開発が進むなかで子ども数のさらなる増加はないのか。そうした事態に対応できる構造とすべきではないか」といった意見が出されていた。それらに対して「この時点では計画の変更はできない」との趣旨の回答であったことは残念。保護者・地域の声を受け止めて、市としてその内容を検討できるような時期に説明会を開催すべき。

教育長) これまで学校との協議やPTA運営委員会での説明などを行ってきたが、市民説明会でそうした声があったことは承知している。今後、新たな案件が生じた場合には、保護者・地域への説明は充分配慮していきたい。

◆非正規公務員の無期雇用転換の検討を

質問) 法律の改正により、有期労働契約が5年を超えて更新された場合、民間企業では本人の申し出により期間の定めのない無期雇用に転換する制度がはじまる。社員のモチベーション向上にもつながると言われているが、市の嘱託職員(非正規職員)に対しても導入を検討すべき。

市長) 1年雇用の4回までの更新、その後の試験による更新をいまのところ継続していくが、この提案は研究していく。

「議員研修会」を開催

「地方議会の役割と今後の課題について」を学ぶため、平成30年1月24日に、元全国都道府県議会議長会議事調査部長の野村稔氏を講師に迎え、研修会を実施しました。



(市役所第1庁舎3階委員会室にて)